



土岡 弘明 先生

略歴

1997年 東京医科歯科大学歯学部 卒業
同大学歯科保存学第2講座（現 歯周病学分野）入局
2005年 千葉県市川市にて土岡歯科医院開設
2019年 東京医科歯科大学歯学部臨床教授

日本歯周病学会専門医・指導医・評議員
JIADSペリオコース講師

歯周組織再生療法に必要な Tips

千葉県開業
土岡 弘明

Papapanouらは、歯周治療を受けなかった垂直性、水平性骨欠損を有する歯の10年後の骨レベルの変化をX線写真により評価し、水平性骨欠損より垂直性骨欠損を有する歯のほうが喪失しやすいと報告している。また、垂直性骨欠損を1度（2mm以下）、2度（2.5～4mm）、3度（4.5mm以上）に分類して10年後の歯の喪失率を調べたところ、それぞれ22.2%、45.6%、68.2%となり、ベースライン時の垂直性骨欠損が深いほど喪失しやすいことを報告している。現在は歯周基本治療を適切に行うことで歯の保存が可能となり、残存した骨欠損に対して適応症や術式を適切に選択することにより、歯周組織再生療法が予知性を持って行えるようになっている。しかし、100%の再生は困難であり、骨欠損形態や歯科医師の技術、患者の協力度に依存する部分も存在し、再生療法の結果によっては、再度の再生療法、切除療法、または残存した歯周ポケットに対してSPTを行うといった判断が必要となってくる。治療計画を立案、説明する際には、患者、歯科医師の共通ゴールを設定し、適宜修正を行いながら、進めていくことが重要である。

今回のハンズオンセミナーは、これから歯周外科治療に取り組もうとしている若手歯科医師を対象とし、歯周組織再生療法を成功させるための必要な知識を整理する。また歯肉付き模型を使用して、基本的な術式の解説、実習を行う。若い先生方の日々の臨床の一助となれば幸いである。